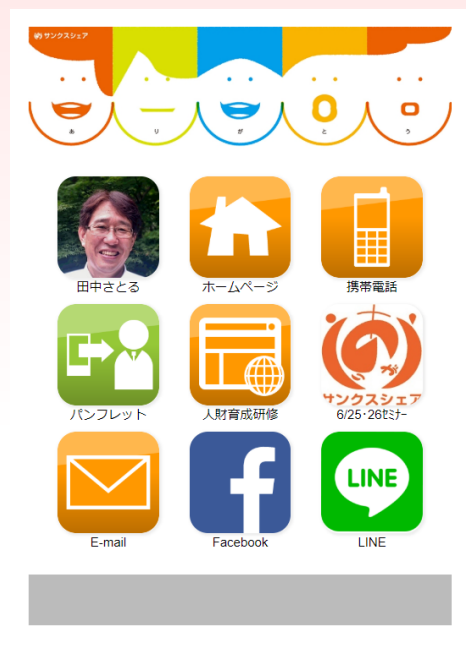


放課後等デイサービス支援員の実践力向上研修（基礎基本編）

～ ASD ADHD LD ～



R5.5.31
こどもデイサービスなないろ



右のQRコードから上記のページの表示をお願いします。

合同会社サンクスシェア
代表理事 田中 さとる



- 1 神経発達症群／神経発達障害群
- 2 統合失調症スペクトラム障害および他の精神病性障害群
- 3 双極性障害および関連障害群
- 4 抑うつ障害群
- 5 不安症群／不安障害群
- 6 強迫症および関連症群／強迫性障害および関連障害群
- 7 心的外傷およびストレス因関連障害群
- 8 解離症群／解離性障害群 などなど

1 神経発達症群／神経発達障害群

【知的能力障害群】

【コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群】

言語症/言語障害・語音症/語音障害・小児期発症流暢症/小児期発症流暢障害（吃音）

社会的（語用論的）コミュニケーション症/社会的（語用論的）コミュニケーション障害

特定不能のコミュニケーション症/特定不能のコミュニケーション障害

【自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害】

【注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害】

【限局性学習症／限局性学習障害】

【運動症群／運動障害群】

【チック症群／チック障害群】

トゥレット症/トゥレット障害・持続性（慢性）運動または音声チック症/ 持続性（慢性）運動

または音声チック障害・暫定的チック症/暫定的チック障害・他の特定されるチック症/他の特定される

チック障害特定不能のチック症/特定不能のチック障害

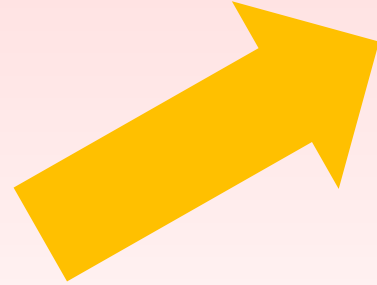
【他の神経発達症群／他の神経発達障害群】

支援の考え方



望ましい行動を身につける

① 行動問題の発生
を回避する



② 望ましい行動を
身に付けさせる

- 支援デザインカのコーチングスキルを身に付けているか？
- ティーチングスキルを身に付けているか？
- カウンセリングスキルを身に付けているか？

望ましい行動を身に付ける5段階戦略

- ① 不適切行動を『**軽減**』する・なくす **「消去」**
 - ・ 不適切な行動の頻度を下げる（＝強化しない）
- ② 望ましい行動を新たに『**獲得**』させる **「シェイピング」「SST」**
 - ・ これまで持っていなかった行動を出現させ強化する
- ③ 獲得した行動を『**維持**』させる **「強化スケジュール」**
 - ・ 一度獲得した行動が弱化・消去されないよう維持する
- ④ 獲得した行動を『**般化**』させる **「分化強化」**
 - ・ ある限定場面だけで行動が起きるのではなく、他の別の場面でも行動が起きるようにする
- ⑤ 獲得した行動の『**自立**』度を高める **「フェイディング」**
 - ・ 他者の依存ではなく自分の力で行動する部分を増やす

苦手に向かう場の環境設定をする

「もの」 ・・・ものを使って環境そのものをコントロールする

例：壁向きに配置した机で学習する

「ひと」 ・・・いわゆる誰が対応するか 人による対応の仕方

例：重要なルールをインプットしてほしい時、管理者に話をしてもらう

「こと①」 ・・・活動内容やイベントのコントロール

例：「今日のおやつコーナー」などスケジュールボードの提示をする

「こと②」 ・・・空間・場所のコントロール

例：学習やおやつの時間に座る席を指定する

「こと③」 ・・・時間帯や時間の長さ、順序などのコントロール

例：本人合わせた、時間入りのスケジュール表を準備する

見える

見えない

障がい支援の基本的考え方

「障がい」の2つの“D”

Disability

Learning Disability, LD

The screenshot shows the Weblio dictionary entry for 'ability'. The search bar contains 'ability' and the page title is 'ability'. The main content area includes a definition: 'abilityとは 意味・読み方・使い方' and '主な意味 できること、能力、技量、力量、才能'. There are also audio icons and a '単語を追加' button. The bottom section shows the pronunciation 'a·bil·i·ty' and a table with details about the word's usage and level.

Disorder

Attention-deficit hyperactivity disorder、ADHD

The screenshot shows the Weblio dictionary entry for 'order'. The search bar contains 'order' and the page title is 'order'. The main content area includes a definition: 'orderとは 意味・読み方・使い方' and '主な意味 順序、順、語順、整理、整頓(せいとん)、整列、(...の)状態、調子、(社会の)秩序、治安'. There are also audio icons and a '単語を追加' button. The bottom section shows the pronunciation 'or·der' and a table with details about the word's usage and level.

『新たなできる』をつくる・『今あるできる』を増やす の見極め

発達障がい



それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

※このほか、トゥレット症候群や吃音（症）なども発達障害に含まれます。

A. 複数の状況で社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的な欠陥

- (1) 相互の対人的・情緒的関係の欠落
- (2) 対人的相互反応で非言語コミュニケーション行動を用いることの欠陥
- (3) 人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥

B. 行動、興味、または活動の限定された反復的な様式で、現在または病歴によって、以下の少なくとも2つにより明らかになる（以下の例は一例であり、網羅したものではない）

- (1) 常同的または反復的な身体の運動、物の使用、または会話
- (2) 同一性への固執、習慣へのかたくななこだわり、または言語的・非言語的な儀式的行動様式
- (3) 強度または対象において異常なほど、きわめて限定され執着する興味
- (4) 感覚刺激に対する過敏さまたは鈍感さ、または環境の感覚的側面に対する並外れた興味

C. 症状は発達早期に存在していなければならない（しかし社会的要求が能力の限界を超えるまで症状は明らかにならないかもしれないし、その後の生活で学んだ対応の仕方によって隠されている場合もある）。

D. その症状は、社会的、職業的、または他の重要な領域における現在の機能に臨床的に意味のある障害を引き起こしている。

E. これらの障害は、知的能力障害（知的発達症）または全般的発達遅延ではうまく説明できない。知的能力障害と自閉スペクトラム症はしばしば同時に起こり、自閉スペクトラム症と知的能力障害の併存の診断を下すためには、社会的コミュニケーションが全般的な発達の水準から期待されるものより下回っていなければならない。

ADHD



A 1 : 以下の不注意症状が6つ（17歳以上では5つ）以上あり、6ヶ月以上にわたって持続している。

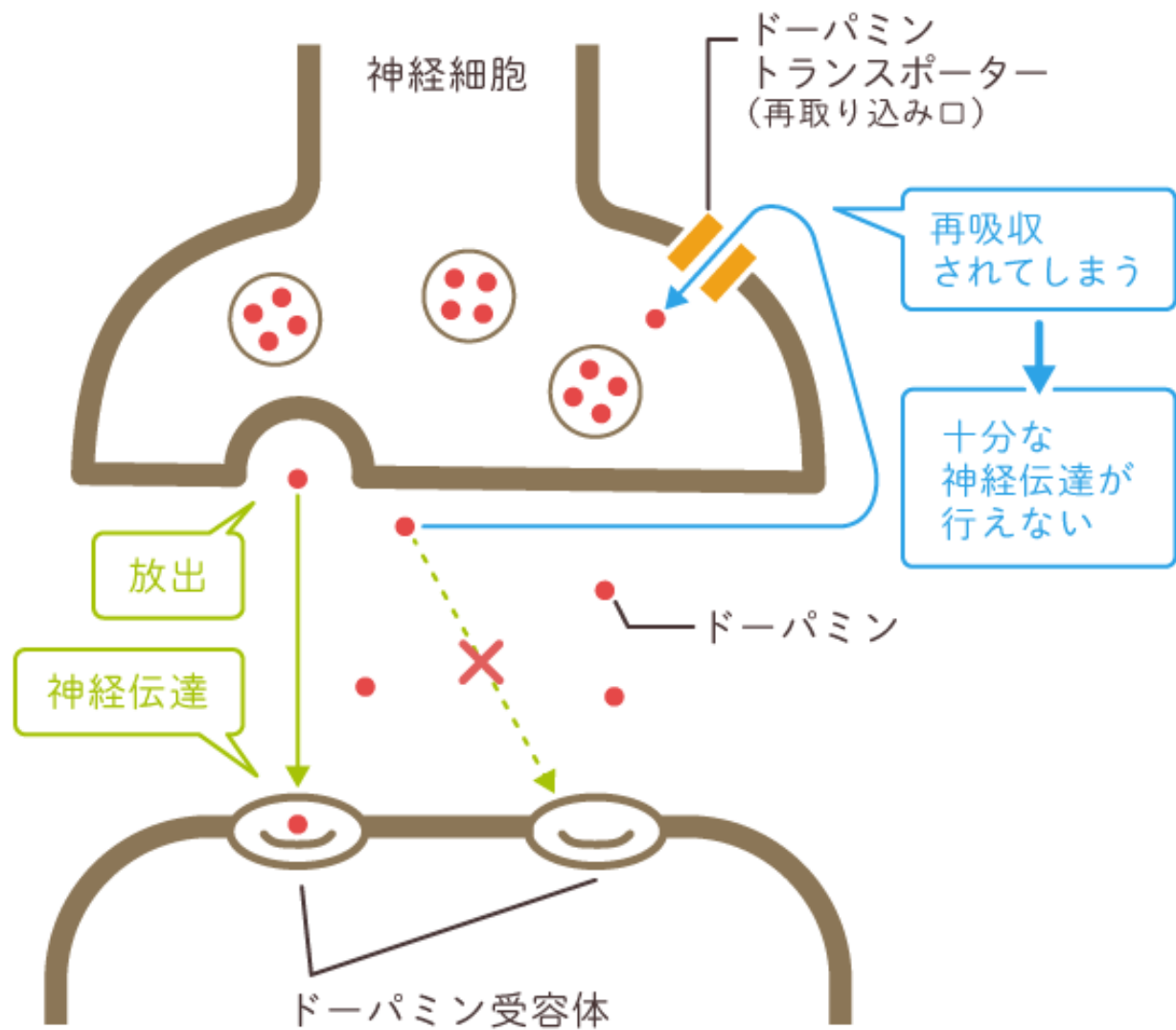
- a. 細やかな注意ができず、ケアレスミスをしやすい。**
- b. 注意を持続することが困難。**
- c. 上の空や注意散漫で、話をきちんと聞けないように見える。**
- d. 指示に従えず、宿題などの課題が果たせない。**
- e. 課題や活動を整理することができない。**
- f. 精神的努力の持続が必要な課題を嫌う。**
- g. 課題や活動に必要なものを忘れがちである。**
- h. 外部からの刺激で注意散漫となりやすい。**
- i. 日々の活動を忘れがちである。**

A 2 : 以下の多動性/衝動性の症状が6つ（17歳以上では5つ）以上あり、6ヶ月以上にわたって持続している。

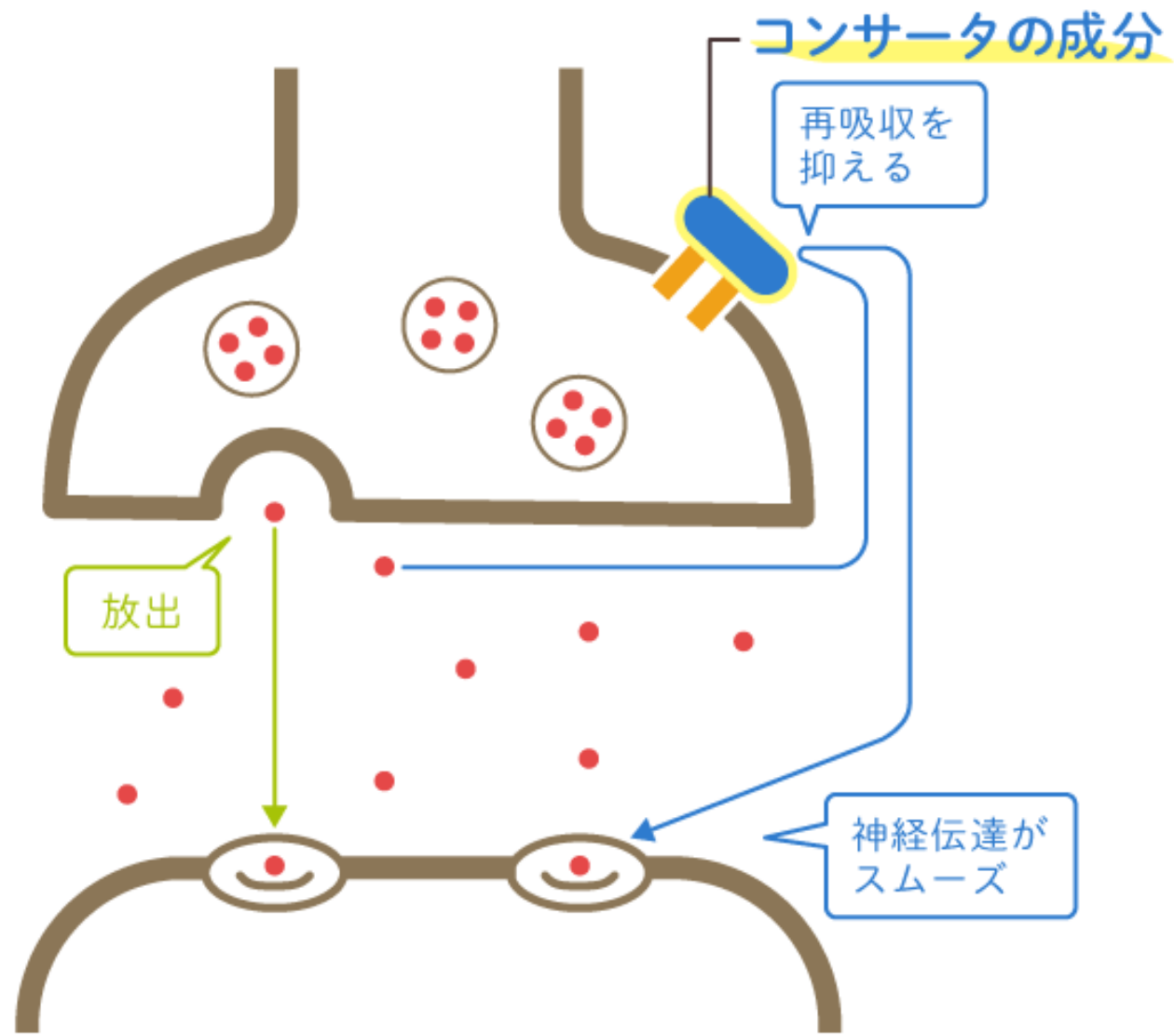
- a. 着席中に、手足をもじもじしたり、そわそわした動きをする。
- b. 着席が期待されている場面で離席する。
- c. 不適切な状況で走り回ったりよじ登ったりする。
- d. 静かに遊んだり余暇を過ごすことができない。
- e. 衝動に駆られて突き動かされるような感じがして、じっとしていることができない。
- f. しゃべりすぎる。
- g. 質問が終わる前にうっかり答え始める。
- h. 順番待ちが苦手である。
- i. 他の人の邪魔をしたり、割り込んだりする。

- B : 不注意、多動性/衝動性の症状のいくつかは12歳までに存在していた。
- C : 不注意、多動性/衝動性の症状のいくつかは2つ以上の環境（家庭・学校・職場・社交場面など）で存在している。
- D : 症状が社会・学業・職業機能を損ねている
明らかな証拠がある。
- E : 統合失調症や他の精神障害の経過で生じたのではなく、それらで説明することもできない

神経伝達がうまく働かない仕組み



コンサータの作用



なぜ不適切行動が起きるのか？



LD



A.学習や学業的技能の使用に困難があり、その困難を対象とした介入が提供されているにもかかわらず、以下の症状の少なくとも1つが存在し、少なくとも6ヶ月間持続していることで明らかになる:

- (1)不的確または速度が遅く、努力を要する読字(例:単語を間違っただけでまたゆっくりとためらいがちに音読する、しばしば言葉を当てずっぽうに言う、言葉を発音することの困難さをもつ)
- (2)読んでいるものの意味を理解することの困難さ(例:文章を正確に読む場合があるが、読んでいるもののつながり、関係、意味するもの、またはより深い意味を理解していないかもしれない)
- (3)綴字の困難さ(例:母音や子音を付け加えたり、入れ忘れたり、置き換えたりするかもしれない)
- (4)書字表出の困難さ(例:文章の中で複数の文法または句読点の間違いをする、段落のまとめ方が下手、思考の書字表出に明確さが無い)
- (5)数字の概念、数値、または計算を習得することの困難さ(例:数字、その大小、および関係の理解に乏しい、1桁の足し算を行うのに同級生がやるように数字的事実を思い浮かべるのではなく指を折って数える、算術計算の途中で迷ってしまい方法を変更するかもしれない)
- (6) 数学的推論の困難さ(例:定量的問題を解くために、数学的概念、数学的事実、または数学的方法を適用することが非常に困難である)

B.欠陥のある学業的技能は、その人の暦年齢に期待されるよりも、著明にかつ定量的に低く、学業または職業遂行能力、または日常生活活動に意味のある障害を引き起こしており、個別施行の標準化された到達尺度および総合的な臨床消化で確認されている。17歳以上の人においては、確認された学習困難の経歴は標準化された評価の代わりにしてよいかもしれない。

C.学習困難は学齢期に始まるが、欠陥のある学業的技能に対する要求が、その人の限られた能力を超えるまでは完全には明らかにはならないかもしれない(例:時間制限のある試験、厳しい締め切り期間内に長く複雑な報告書を読んだり書いたりすること、過度に思い学業的負荷)。

D.学習困難は知的能力障害群、非矯正視力または聴力、他の精神または精神疾患、心理社会的逆境、学業的指導に用いる言語の習熟度不足、または不適切な教育的指導によってはうまく説明されない。

状況を把握しましょう

【状況に関わる情報を集める】

- 生じている支障は何か？の把握
- 障害特性やスキルを確認する
例) 苦手なこと、得意なこと、できること、できないこと
- それは「苦手」なのか「苦手意識」なのかの見極め

【できているとき・できていないときの環境を詳しく見る】

- 問題が生じた前後の状況を整理する
例) 機能的アセスメント（機能分析、ABC分析）

「苦手」の場合

【読字障害で考えられる要素】

- 文字の視覚情報としての受信
- 文字認識の記憶量や保持時間
- 文字情報のことばとしての意味理解
- 読み取ったことの講音音声としての変換
- 講音機能の不具合

「苦手」の場合

【書字障害で考えられる要素】

- ・ 書こうとしている文字と正しい文字の認知のずれ
- ・ 文字認識と手の協応性の不具合
- ・ 文章作成力・構想力・組み立て力の力量不足
- ・ 文字認識の記憶量や保持時間の不足
- ・ 文章表現力（表出）の不足

「苦手」の場合

【算数障害で考えられる要素】

- ・ 数概念・量概念・図形概念理解の不足
- ・ 数学的な考え方（論理的 統合的 発展的）の不足
視点 情報整理 イメージ モデル プロセス分解・統合
- ・ 計算技能の技術不足
- ・ 文字認識の記憶量や保持時間の不足
- ・ 文章表現力（表出）の不足

「苦手意識」の場合

※ 苦手意識の取り扱い ① 避ける OR ② 向かう

【苦手意識を克服する方法】

「未知のものへの恐怖心」 OR 「過去のネガティブ体験」

- ・ 自分にとってプラスを考える
- ・ ハードルを下げる
- ・ やらざるを得ない環境に身を置く
- ・ (得意な) 人と一緒に行動する
- ・ メタ認知しながら取り組む